

■健康増進部会 報告■

開催日時：平成30年1月30日(火)13:30～15:30

会場：さわやか保健センター1階視聴覚室

部会員：草津栗東医師会、草津栗東守山野洲歯科医師会、栄養士会、健康推進員連絡協議会、草津保健所

◆報告事項◆

①各種けん診について…資料3-1

〈報告内容の概要〉

・各種けん診の平成28年度実績と次年度予定の報告

乳・肺がん検診は受診率が上昇。胃・大腸・子宮頸がん検診は受診率の低下がみられており、特に低年齢層や60歳代の受診率が低い。

受診率上昇のため、次年度新たに、胃内視鏡検査の導入と、特定健診集団健診の会場で、肺がん検診に加え、乳・子宮頸がん検診とプレ特定健診を実施予定である。

・次年度個別勧奨通知の案提示

効果的な啓発が出来るよう、個別勧奨通知のハガキを自分自身の健康管理が出来るような様式にする予定。

〈意見等〉

・個別勧奨通知はがん検診を受けると、特典があるなど、何かお得な感じがないと、市民は受診に結び付かない。

⇒健幸ポイント、BIWA-TEKUのポイント申請に使用できることを通知に明記する。

・がん検診を始め、自分の健康管理について早い段階から興味を持ってもらえるようにすべき。

⇒子育て世代にも自身の健康に関心をもって頂けるよう、乳幼児健診での啓発等効果的に実施していく。

②特定健康診査・特定保健指導について…資料3-2

〈報告内容の概要〉

・特定健康診査・特定保健指導の事業実績と次年度予定、目標値について報告

特定健診受診率、特定保健指導実施率ともに上昇しているが、県平均には及んでいない。受診率、実施率の向上対策として平成29年度は協会けんぽと合同で集団健診と結果返し会を実施したが、結果返し会の参加率は悪く、来年度は手法を変えて開催する。特定保健指導対象者の利便性を考慮し、土日、時間外の指導の実施を開始。来年度はそれに加え、市内各所での実施も予定。特定保健指導対象者は50～60歳代の男性が多いため、その世代の参加率をあげる取り組みも必要である。

〈意見等〉

・結果返し会について、協会けんぽの受診者は前年度まで郵送による結果返しであったため、結果を取りに来てくれる人が少なく、かつ特定保健指導対象者となると尚更少なかったと感じた。協会けんぽの特定保健指導を受託している栄養士会としては特定保健

指導対象者へは電話で勧奨を実施したことで少し参加者が増えた。

- ・特定保健指導対象者は 50～60 歳代男性が多いが、食事についての改善となると奥様に指導をすることも必要ではないか。

⇒ご夫婦での特定保健指導、生活習慣病相談の実施の検討。

- ・50 歳代は症状が出てから病院に行けばいいと思っている人もおり、健診結果が悪くても放置している人も多い。

⇒自覚症状が無くても体内が危険な状態であることをしっかり伝え、特定保健指導の重要性を伝える。

③生活習慣病相談、健康教育等について…資料3-3

<報告内容の概要>

- ・生活習慣病相談の事業概要と実績、参加者の状況紹介

生活習慣病を予防するためには、若い世代へのアプローチが重要である。生活習慣を改善する機会とするためにも、生活習慣病相談を活用してほしい。平成 28 年度は、個別通知の内容を個人に合わせたイラストやコメントを活用するなどして、対象者が参加する必要性を感じてもらえるよう取り組んだことが生活習慣病相談の参加者増加につながったと考える。早い段階で生活習慣病を予防していけるように、若い世代への健診受診をさらに促していく。

<意見等>

- ・より早い段階から生活習慣病を予防していくべき。
⇒若い世代へのアプローチ方法を検討し強化していく。
- ・自分一人ではなかなか受診しない。近所の人と誘い合わせて受診できるようにしたい。
⇒乳幼児健診や子育てサロン等でもプレ特定健診について啓発し、同じくらいの子を持つ親世代の受診を促せるよう工夫していく。

④健康づくりの取り組みについて…資料3-4

<報告内容の概要>

- ・健康教育の実績報告

- ・健幸イベント、健幸ポイント、食育SATの活用状況報告

市民からの要請により、健康教育、みんなでトークを行った。また、かかりつけ医等普及促進事業として医師や薬剤師による出前講座を実施。その他、実施した健康づくりに関するイベント等について報告した。

<意見等>

- ・歯科医師会のイベントにもぜひ食育SATシステムを活用させていただきたい。